

春の大祭 盛大に斎行



例祭後の記念写真

こうした子どもたちに受け継がれる地域の神事芸能には大人の方の協力が欠くことが出来ません。神社は、先祖の方が大切に守り伝えてきた暮らしの文化を伝える場所であり、地域の皆様方のご理解・ご協力というお蔭に改めて敬意を表する次第です。



また、本莊雨乞い踊りは、浅野晃一郎さんら本莊の歴史を語る会が復活に向けて調査・研究され、平成二十九年にかつて本莊の地域で伝承されていた踊りを再興しました。以来、本莊小学校児童を中心として日舞の広瀬桂子先生の指導の下、徐々に踊りの形が整えられ、毎年春の例祭で奉納いただいております。今日では地域の文化祭のほか、ジュニア文化祭にも積極的に参加するなど盛んに活動しています。

平成十八年四月に宮司に就任して早二十年の歳月を迎えることとなりました。当初の役員や総代、又様々な組織作りで神社に協力してくださった方々も高齢化し、そうした中でも熱心にご奉仕下さる皆様や、殊に地域の皆様には、毎月各自自治会が交代で境内清掃に当たって下さり、改めて皆様方の協力の下に神社が成り立っていることに深甚なる感謝の意を捧げます。

この春の例祭を始め、七月の夏越祭、九月の奉幣祭の年三回、祭礼に彩りを添えてくれるのが地域のお子様方からなる巫女舞です。

巫女舞は、いちだクリニツクの市田先生の発案と衣装の奉納により平成二十一年の夏越祭から始まりました。また、舞の指導には、佐藤名郁さんにお願いで毎年十三名ほどの皆さんがご奉仕いただいております、十年継続で務めていただいた方もおられます。



しあわせ祈願の宮
本莊神社発行 第30号

〒500-8369
岐阜市敷島町9-24
honjojinja-gifu.gifu-city.net
(058)201-5381



お蔭^{かげ}さま

しあわせ祈願の宮 本莊神社宮司 今津隆弘

例祭アルバム

◎鱈餅の調進



四月二日から鱈餅づくりが始まり、四日に完成。社務所にてお祓いが行われました。



◎例祭(春大祭)





令和六年より、正月、例祭、夏越祭と年三回模擬店が出店し、地域の方々の楽しみであり、風物詩になっています。



本莊小学校三年生
「本莊のはかせになろう」
本莊の歴史を語る会
浅野 晃一郎

本莊小学校の三年生学年主任の金森先生より、左記の内容で授業をしてほしいと依頼がありました。
・十一月十三日、二十日、二十七日
(水曜日)

- ・午前九時二十五分～十時十分
- ・子どもは飽きやすいので二回にわけて実施してもらいたいとお話でした。

○内容(質問のまとめ)

- ①本莊小学校のこと
 - ・学校が建てられた年
 - ・学校の歴史とその歴史がもつ意味
 - ・桜が植えられている理由
 - ・学校の名前が変わった理由
 - ・場所が此花町である理由
- ②本莊地区のこと
 - ・本莊の歴史が知りたい
 - ・他の地区との大きな違い
- (本莊の特色)
 - ・最初はどんな名前だったのか
 - ・住んでいる人の数
 - ・どんなお店があるのか
 - ・いつごろからお店はあるのか
 - ・健康のために散歩コースはどこがいいか
- ③本莊地区にある神社のこと
 - ・何の神様を祭っているのか
 - ・どんな御朱印がもらえるのか
 - ・どんな祭をするのか。何回するのか
 - ・建物の中が気になる

以上の質問に対して、本会では日程の決定、資料づくり、出来る限り聞き話にならないような工夫や、子どもの参加を多く取り入れることを心がけました。

学校側から提示された質問の答えを、参考資料をもとに作りました。資料として用いたのは、昭和四十三年刊行の「うつりかわる本莊」、令和元年刊行の「本莊神社誌」などです。

①本莊小学校の歴史と変遷

- ・明治六年(一八七三) 鍵屋・妙円寺を仮校舎として、「成物義校」を開設。
- ・同年九月 現在地に新校舎完成移転。
- ・明治十一年(一八七八) 厚見郡鳥屋村立成物小学校となる。
- ・明治十九年(一八八六) 鳥屋村立成物小学校となる
- ・明治二十三年(一八九〇) 鳥屋村が本莊村と改称し、本莊村立成物小学校となる。
- ・明治二十四年(一八九一) 濃尾震災にて校舎倒壊、妙円寺を仮校舎とする。

・明治二十六年(一八九三) 新校舎完成

・明治二十七年(一八九四) 本莊尋常小学校となる。

・明治三十年(一八九七) 稲葉郡本莊村となる

・昭和六年(一九三一) 稲葉郡が岐阜市に編入し、岐阜市立本莊尋常高等小学校となる。

・昭和十六年(一九四一) 岐阜市立国民学校となる。

・昭和二十二年(一九四七) 岐阜市立本莊小学校と改称。現在に至る。

②本莊の歴史について

- 地名のこと
 - ・本莊は、本庄とも書き、金華山の西の方、長良川・伊自良川両川の合流地点東南に位置します。
 - ・地名の由来は、美濃国厚見郡平田莊(京都・長講堂領莊園、平安末期から鎌倉時代)の中心地であったことに由来するとの説が有力です。
- ・明治六年に厚見郡本莊村となるまでは厚見郡鳥屋村と称され、鎌倉時代の「吾妻鏡」は、美濃国戸屋と出てくることから、「とや」

地名は鎌倉時代に遡る地名と考えられます。

□水害のこと

- ・本莊は、長良川伊自良川合流地点に位置することから、水害も多く、天文四年(一五三五)には、死者二万人と伝えられる大洪水が起こっています。

慶安三年(一六五〇)の水害では加納輪中が水底となり、赤坂(現・大垣市)まで舟で行ったと伝えられます。

文化十二年(一八一五)には、長良川が氾濫し、堤防が切れて本莊村は河原になったと伝えられ、堤防のきれたところには、大きな池ができたと言います。現在の

大池町です。

明治二十九年には、木曾・長良・揖斐の三大河川がごとく氾濫して堤防が決壊、大きな被害となりました。

こうした経緯から、昭和八年(一九三三)頃から大がかりな工事が行われ、昭和十二年に治水工事が完了し、心配が無くなりました。

□本莊の諸産業のこと

- ・本莊の西部の森屋、溝畑、多羅

里は、戸数の半数以上を織屋が占めていました。

江戸時代の寛延二年(一七四九)の頃、京都から紋縮緬の職人が岐阜に移り住み、鏡島や笠松で機屋を作って「岐阜縮緬」を生み出しました。溝畑の機屋は農業の片手間で行われましたが、森屋は本業の機屋が多く、「森屋の紋縮緬」として広く世に知られて京都へも売りに出されるほどでした。また、

多羅里は中山道の街道筋で、加納宿と河渡宿の合いの宿とされ、店舗も三軒あり、機織り娘目当ての若造や、旅人のお腹を満たした名物「多羅里餅」を出す茶店など活気があったと云われています。

そのほか、鳥屋の縮緬大根、三つ又、久保見の竹屋では、加納の和傘の材料で、下地となる骨柄竹ろくろ作りが農業の片手間を利用して盛んに行われました。大正時代には、和傘職人や機屋が最盛期となる一方、昭和に入ると鐘紡岐阜工場、新興人絹株式会社、三菱レイヨン会社、山口鋼業会社、また

紡績工場の立地条件が良いとして様々な工場が誘致されました。

③本莊地区の神社のこと

◇本莊神社

すさのおのみこと
素盞鳴尊

◇多羅里 八幡神社

おうじんてんのう
応神天皇

◇菅原道真

すかわけのみこと
菅原道真
ほのかくつちのおおかみ
火之迦具土大神

◇鳥屋 八幡神社

おうじんてんのう
応神天皇

◇熊野神社

いさなのみこと
伊弉諾尊

◇森屋 神明神社

あまてらすめのおおかみ
天照皇大神

◇島田 神明神社

あまてらすめのおおかみ
天照皇御神

◇豊竹 稻荷神社

うかのみたまのみこと
倉稻魂命

◇倭姫命

◇阿賀多神社

あがたのおおかみ
阿賀多大神

地域の神社は、「氏神」「産土神」と称します。私たちの遠い先祖が氏族の守り神「氏神」として祀ったことに始まり、やがてそこに移り住む人々の暮らしを見守る「産土神」として敬って暮らしてきました。

した。中でも、私たちの食文化、稲をはじめとする食物の生育を祈り、秋の稔りに感謝を捧げる神事を執り行いました。これが、現在の春祭、秋祭となっています。

こうして終えた授業の感想文を頂いたので、学校側の了解の下、ここに掲載致します。



本莊の歴史を語る会の皆さんへ

●三年二組 石井りゅうのすけ
本庄のいろいろなことをたくさんおしえてくださってありがとうございます。話がすごく楽しかったです。ぼくは、ていぼうや、中せん道などたくさん知れました。さらに、本庄のことにもっと興味をもてました。本庄の神社にもう一度行ってみたいくなりました。

ながら川がそんな事になって、ぎふ市が水害があったのも知りませんでした。もつと本庄の事を知りたいです。本庄の事をたくさん知れて、すごくうれしかったです。

●三年二組 高野 充希

本庄のいろいろなことを教えてください。わたしは歴史が大好きなので、すぐくたのしかったです。とくにここらにのこったことは、むかしの本庄小学校の名前のこと、児童の数が九十二人だったり、みょうえんじというお寺をかりていたこと。とくに、「成物ぎ校」という名前は、わたしにとつてもいろいろ思っています。本庄の歴史のことを知れてうれしかったです。

●三年二組 小酒井 なつき

本庄のいろいろなことを教えてください。わたしが、一番心にとつておもしろいのは、学校の名前が昔は「せいぶつぎこう」だったことです。その名前にこめられたねがいは、「正しい道を進む」というところ

が気に入りました。雨乞いもがんばります。

●三年二組 小林 煌生

本庄のいろいろなことを教えてください。わたしが、いちばん心にとつたことは本庄神社の話です。とくに本庄神社は何回もひっこししているということがわかってびっくりしました。

●三年二組 山本 かな

本庄のいろいろなことを教えてください。わたしが、一番心にとつたことは、本庄小学校のきゅうしょくが、ぎゅうにゆうとパンだけだった事にびっくりしました。なので、その事について知りたいです。これからも本庄小学校のきゅうしょくを、のこさずかんしょくしていきたいです。

●三年二組 道家 侑汰

本庄のいろいろなことを教えてください。わたしが、一番心にとつておもしろいのは、神社が本庄の八つもあるなんて知りませんでした。二つか三つかと思いました。

●三年二組 たかくらりな

本庄のいろいろなことを教えてください。わたしが、一番心にとつておもしろいのは本庄の神社のことです。なぜかという、ぼくが小さい時、神社が大好きだったからです。大きくなった時、神社のことがより知りたくなり、本庄のれき史を語る会のみなさんによって、すっかり神社にハマってしまいました。本庄のれき史を語る会のみなさんのおかげでもつと本庄のことをより知りたくなりました。

●三年二組 松波 ほんか

本庄のいろいろなことを教えてください。わたしが、一番心にとつておもしろいのは、学校が四回もたてなおされたことです。まず、本庄のさまざまな人がお金をかけて、作り直してくださったのがすごいと思いました。だから、わたしも学校を今でも大切にしたいです。だから、勉強や運動もたくさんして、学校もこれからも大切にします。

●三年二組 河上 玲奈

本庄のいろいろなことを教えてください

いただきありがとうございます。わたしが、一番心のこつていることは、むかしの本莊小学校の名前です。成物義校という名前をはじめて知りました。「正しい道を進む」というねがいははじめて知りました。わたしもみな様のように、本莊のことについてくわしくなりたいです。

●三年二組 浅野かほ

本莊のいろいろなことを教えていただきありがとうございます。わたしが、一番心のこつたことは、本莊小学校という名前ではなく、成物義校という名前だったことです。成物はものごとをなすとげるといふ意味で、義校は、人々が正しい道でつくった学校ということを知りました。これは、勉強をいっしょうけんめいやつてほしいという地域の人のねがいがこもった名前なので、勉強をいっしょうけんめいとくみみたいです。

●三年二組 齋藤千尋

本莊のいろいろなことを教えていただきありがとうございます。わたしが、一番心のこつていることは、本莊小の石の門です。な

ぜかというと、本莊小の中でもっとも一番古い石の門だからです。わたしも、こんな古いんだときいて、とてもびっくりしました。きてくださってありがとうございます。



●三年三組 おく田かいと

ぼくは、本莊地区には、神社が八つあるのを初めて知りました。もっと知りたいのは、ぎふ市だけではなく、日本中の中でいちばん広い公園をもっと知りたいです。一番びっくりしたのは、じしんで日本だけではなく、外国でも大きなじしんがおきたのがわかりました。学校の事や、中山道や、神社や、ていぼうの事をありがとうございます。

●三年三組 清水ゆめ

わたしは、公共しせつの「ぎふ市にはやく八百しせつがある」ということをきいてびっくりしました。ほかには、そこに住人たちがべんりになるようにすることを初めて知って、どりよくしているんだなと思いました。ほかにもたくさん教えてくださりありがとうございます。

●三年三組 たかはしゆうと

中山道は、すごい道なのをはじめて知ったので、びっくりしました。本莊小学校にはれきしがいっぱいこのさされていることを知ってうれしくなりました。

●三年三組 長屋さち

中山道ていぼうの事をはじめて知りました。ほかに、がっこうや、じんじやや、長良川や、昔おこつたじしんなども知れて、本じょうはかせになったと思いました。これからは、もつと昔の事を学びたいです。本当にありがとうございます。

●三年三組 にしきみさくら

わたしはじめて知ったのは、長良川のことと、じんじやと、中

せんどう、学校です。とくにきになつたのは、中せん道です。中せん道には、いろんなれきしがあることをしりました。二番目は、長良川です。本じょう地区に大雨がふつて町がこう水になってしまったのがびっくりしました。いろんなことをしれたのでうれしかったです。



巫女舞卒業によせて

山川 桃佳

私は、巫女舞を始めて十二年になりました。初めは、右も左も分からず、先生、先輩方に教えてもらい、舞うことに必死でした。年数を重ね、たくさんの経験をさせていただき、今では自信を持って舞台上立ち、舞うことができていると思います。ここまで、長く続けてこれたのは、市田先生を始め、地域

の皆様方の支えがあったからこそだと思っています。

練習の場を設けてくださり、指導して下さる先生がいて、本番を迎えるにあたり、衣装があり、舞う場があること。どれ一つとして欠けては本番を成功させることができないと思っています。

多くの方々に支えられ、私も永年続けることができている。ただ本番の舞台に立たせていただいても今でも緊張します。

この緊張をなくすことはできないけど、自信を持てるのは練習に真摯に向き合い続ける姿勢が何よりも大事だと思っています。

これから先も多くの子どもたちが巫女舞に携わることができると思いますが、練習を大切にしていきたいです。支えてくださる方々に感謝し、精一杯舞ってくださる経験を積んでください。

私もまた舞台上に立てる日が来たら、精一杯舞いたいと思います。



市田先生へお礼

岡 海心

いつも私達の巫女舞を応援してくださり有り難うございます。私は、巫女舞を小学五年生の時から始め、今年高校に入学し、六年間巫女舞を続けています。

毎年、夏まつりや、春の祭りに向けてお稽古を受けて練習し、本番で見てくださいる方々の前で衣装を着て踊るなど、普通では経験できない事を楽しく沢山やらせて頂き、毎年続ける事ができている事を本当に感謝しています。

私は、春から入学した高校で製菓について日々学んでおり、将来はパティシエになる事を目指しています。日々学校生活で大変な事もありますが、これからも巫女舞を続け、学校生活も巫女舞も両方頑張っていきたいと思います。これからも私達の巫女舞の応援を宜しくお願いします。

市田先生へお礼

岡 空凜

新緑の候、皆様におかれまして

はますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より温かいご声援を賜り、心より御礼申し上げます。

市田先生が応援してくださっているおかげで、きれいな衣装でおどることができて、とてもうれしいです。私は、小学校二年生から巫女舞をはじめ、中学生になりましたが、これからも勉強との両立をめざして、巫女舞を続けていきたいと思っております。

これからも応援をよろしくお願ひします。

市田先生へお礼

田中 すず

いちだクリニック院長先生、この間は、入学祝いをくださり、ありがとうございました。

私は、いつもすずをもつ手をさげないようにすることを気をつけています。

今後もしきをつけながら、練習にはげむので、今後ともご支援お願ひします。



御朱印のご案内



本莊神社では、毎週金曜・土曜・日曜日及び、祝祭日に宮司が社務所受付で御朱印対応をしております。

御朱印は、「月替わり」で図柄が変わります。消しゴム印で、その月に因むデザインを彫って授与しています。

また、第一土曜日と月末金曜日には、金文字の御朱印「金の御朱印」を授与しております。

◎受付時間

・金曜、土曜・日曜・祝祭日

午前十時～午後三時まで

・月末金曜日

午前九時～午後五時まで

◎御朱印料 五〇〇円

*通常は、御朱印帳へ直書きを致します。但し、月次祭、その他外祭(出張祭典)で、社務所を不在する場合は御朱印帳への直書き対応ではなく、「書き置き」対応となりますので、ご了承願ひします。

夏越祭・夏まつりのご案内

◆夏越祭(神事)

日時 七月五日(土)午後五時
児童行灯奉納、巫女舞奉納
神事後、「茅の輪くぐり」実施



◆夏まつり

日時 七月五日(土)

◇奉納行事

本莊神社合唱隊、合唱披露



うすら太鼓 奉納



◇夏まつり縁日(模擬店)開催

午前十時～午後八時
場所 参道南側、鳥居周辺
やきそば、かき氷
たこ焼きなど

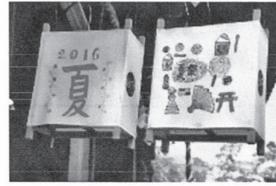


一行灯に貼り付ける「絵」の募集



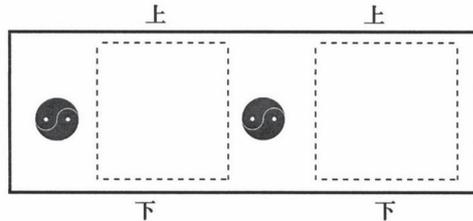
◎提出期限 6月28日(土)
(翌日29日に行灯に絵の貼り付け作業実施)

- ◎絵の対象者
- ・氏子地域(10支部)の児童・生徒
 - ・本莊小学生
 - ・氏子地域(10支部)の家族、知人で希望される児童等
 - ・希望者(絵画教室等で絵を描いている方等)



【絵の描き方】

- ・用紙の2カ所の「**カ**」に描きます。
- ・上下を確認して下さい。
- ・クレヨン等油性で、描いて下さい。
- ・名前や文字を書いても良いです。



●本莊神社に飾る日 7月5日(土)お昼頃~6日(日)午後3時まで

行灯の絵募集

巫女舞募集

- ・女子小学生、中学生を対象としています。
- ・練習は神社拜殿にて、三月・六月・九月午後三時~六時です。
- ・四月の春祭、七月の夏越祭、九月の奉幣祭に巫女舞をご神前に奉納します。
- ・先ずは、気軽に練習を見に来て下さい。
- ・巫女舞衣装は、神社で保管管理しています。
- ・問い合わせ先 本莊神社社務所
(〇五八)二〇一五三八一



お祓いの受付

本莊神社では、随時「厄祓い」や「初宮参り」「七五三参り」など各種のご祈祷(お祓い)を受け付けております。

ご祈祷希望の方は、先ずお電話にてお名前、ご祈祷希望日、ご祈祷内容をご連絡の上、当社ホームページの「ご祈祷申込フォーム」からお申し込み願います。

□ご祈祷の願旨(ねがいごと)

《神社でのご祈祷》 五千円から受付

- ・ 家内安全
- ・ 商売繁盛(事業繁栄)
- ・ 交通安全(車のお祓い)
- ・ 厄祓い(前厄・本厄・後厄)
- ・ 身体健康
- ・ 病氣平癒
- ・ 初宮参り
- ・ 七五三参り
- ・ 転宅方除 など

《出張祈祷 現地でのお祓い》

二万円から受付

- ・ 地鎮祭
 - ・ 竣工祭
 - ・ 開店清祓
 - ・ 事業安全 など
- (祭壇等は持参致します)



▲本莊神社公式HP

社報は、一月、五月、十月の年三回の発行です。
本莊神社の行事等を随時ホームページに掲載・発信していますのでご覧下さい。